

介護老人保健施設しおん

日野 由己子 (居宅・ケアマネジャー)

功 績	Our teamの仲間として他部署の職員の為に奔走した事。また、外部入院先病院からも「身寄りの無い方なのにスムーズに入退院の手続きが完了できた。しおんさんだから出来た」と好印象の評価をいただいた事への功績
推 薦 者	居宅・管理者・大橋和枝
推 薦 理 由	部署が違って一緒に働く職員にOURチームの仲間としての結束を強めた

内 容

営繕課職員(70歳代・独身男性)が、朝出勤すると暗証番号がわからない、仕事の段取りがわからない、ペンの持ち方がわからない等の異変症状があり、営繕の職員から看護師に相談、看護師が容態を確認し緊急と判断。履歴書の緊急連絡先へ電話するも連絡が取れない状況であった。

そこで、3年前(R4.11)に左大腿骨骨折時に介護申請代行のみ(介護サービスの利用は無)を行なった事のある日野ケアマネジャーが、訪問予定の入っていた利用者さんに一旦訪問延期の連絡と他職員への引継ぎを行い、緊急受診に同行。その結果、脳出血の診断で即入院となった。

入院するにあたり、身元引受人や保証人が必要となり、ご本人より聞いた可能な限りの親戚に連絡を入れるも「もう何年も行き来していないから」とお断りされた。幸い、早期段階で受診したため手術はしない方向となり、金銭面は法人保証でOKとの事で入院。

その後も転院に向け、地域の包括支援センターや市役所にも連絡を入れ対応に奔走。今後の後見人等の色々な手続き等を包括支援センターと一緒にこなした。心配されていた失語や認知面も回復し、2週間後に退院許可が下り大きな後遺症も無く、無事ご自宅へ戻る事が出来ました。ご本人からも「一緒に病院に付き添ってくれてありがとう。日野さんがいなかったら入院出来なかった。感謝します」とお礼がありました。今回、1人の職員を救うためour teamとして他職種が絡み、日野ケアマネジャーがその思いをしっかりと繋ぐことで、一人の職員を救う事が出来ました。

利用者さんのみならず一緒に働く仲間にもour teamとして迅速に対応した事に対して理事長賞に推薦いたします。